

航空機データの全球数値天気予報へのインパクトについて

On the impact of aircraft data on global numerical weather prediction

*石橋 俊之¹*Toshiyuki ISHIBASHI¹

1. 気象庁気象研究所

1. MRI/JMA

全球大気を対象とする数値天気予報は、日々の天気予報や防災情報の基礎情報を提供するとともに、気候解析や予測の基盤技術にもなっている。予報精度は初期値の精度に大きく依存するため、その生成には4次元変分法などのデータ同化手法を用い、一日あたり数100万の観測データが同化されている。このような膨大なデータの中でも、航空機の観測データ（気温、風、（比湿））は主要な観測の一つとなっている。初期値の精度を向上させるためには、個々の観測データが予報精度に与える影響を評価することが重要である。本発表では、数値予報モデルやデータ同化システムの随伴コードを用いて、個々の観測の予報精度等への寄与を評価する。航空機観測データのもつバイアスの補正方法など今後の課題についても考えたい。